



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月25日

上場会社名 株式会社フコク 上場取引所 東  
 コード番号 5185 URL <http://www.fukoku-rubber.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 大橋 由宏 (TEL) 048-615-4400  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,884	△16.9	37	△92.3	113	△73.0	△23	—
2020年3月期第1四半期	19,117	△1.6	483	△43.4	420	△57.9	397	△37.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,311百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 695百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△1.39	—
2020年3月期第1四半期	23.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	61,519	30,406	45.7
2020年3月期	65,246	31,941	45.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 28,134百万円 2020年3月期 29,494百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	△29.0	△1,200	—	△900	—	△950	—	△57.36
通期	57,000	△23.8	△1,100	—	△800	—	△900	—	△54.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	17,609,130株	2020年3月期	17,609,130株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,046,214株	2020年3月期	1,046,214株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,562,916株	2020年3月期1Q	16,562,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるグローバルの経済情勢を見ますと、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、及びその抑止に向けたロックダウンや移動制限、操業制限等の各国の厳格な施策の影響がしだいに濃くなり、急激な景気の落ち込みに悩まされる事態となりました。

わが国におきましては、コロナ禍への政府の対応として「緊急事態宣言」が発令される中、個人の外出や消費は大幅に減退し、企業活動は従業員の安全への配慮を優先するとともに、需要の縮小や供給不安による生産調整に苦心するなど、社会・経済活動全般に先行きが大いに不透明な状況となりました。

当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、以前からの減速懸念に加え、コロナ禍の甚大な影響が逆風となっており、カーメーカーからサプライヤーにいたるまで世界中で操業の停止・抑制を余儀なくされるなど、各社の業績へのインパクトが深刻化する様相を呈しました。

このような状況を受けて、当社グループの連結売上高は前年同期比16.9%減の158億84百万円となりました。損益面では、各エリアにおいて従業員の安全を優先した対策や受注減に対する生産調整を図る一方、生産性向上、固定費圧縮等の緊急対策を講じましたが、急激な受注減を吸収するには間に合わず、営業利益は前年同期比92.3%減の37百万円となり、経常利益は雇用調整助成金の活用等によって同73.0%減の1億13百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した結果、23百万円の損失となっております（前年同期は3億97百万円の利益）。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

## 機能品事業

タイのワイパー事業など、コロナ禍の影響が遅いところもありましたが、売上高は前年同期比20.4%減の64億8百万円、セグメント利益は同26.9%減の3億9百万円となりました。

## 防振事業

中国のコロナ禍の影響が早く、全体としても低調な受注となり、売上高は前年同期比17.6%減の63億57百万円となりました。セグメント利益については、減収に加えて先行の増産投資の負担等もあり、前年同期比45.7%減の3億80百万円となりました。

## 金属加工事業

主に国内トラック及び小型建機関連の受注減により、売上高は前年同期比9.2%減の16億36百万円となりました。損益面では減収に加えて生産性改善活動の遅れもあり、1億11百万円の損失となりました（前年同期は8百万円の利益）。

## ホース事業

国内外とも主に商用車向けの受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比5.2%増の10億10百万円、セグメント利益は同237.2%増の27百万円となりました。

## 産業機器事業

国内を中心に受注が伸び悩み、売上高は前年同期比20.4%減の5億97百万円、セグメント利益は同31.0%減の52百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ37億27百万円減少し、615億19百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ25億85百万円減少し、337億37百万円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

固定資産は前期末に比べ11億41百万円減少し、277億81百万円となりました。これは主に、為替換算の影響に伴う有形固定資産の減少等によるものです。

負債は前期末に比べ21億92百万円減少し、311億13百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務の減少等によるものです。

純資産は前期末に比べ15億34百万円減少し、304億6百万円となりました。これは主に、利益剰余金及び為替換算調整勘定の減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は45.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年7月27日発表の数字を変更しておりません。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,314	9,704
受取手形及び売掛金	18,219	15,026
商品及び製品	4,046	4,195
仕掛品	1,188	1,206
原材料及び貯蔵品	2,451	2,401
その他	1,113	1,214
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	36,323	33,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,597	7,165
機械装置及び運搬具(純額)	10,876	10,412
土地	5,694	5,578
その他(純額)	2,409	2,340
有形固定資産合計	26,577	25,496
無形固定資産	842	824
投資その他の資産		
投資有価証券	675	671
その他	840	801
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	1,502	1,461
固定資産合計	28,923	27,781
資産合計	65,246	61,519

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,610	3,796
電子記録債務	5,366	4,411
短期借入金	9,041	9,118
未払法人税等	181	183
賞与引当金	738	455
その他	4,774	4,246
流動負債合計	24,712	22,210
固定負債		
長期借入金	3,850	4,418
退職給付に係る負債	2,241	2,151
役員退職慰労引当金	126	119
その他	2,374	2,212
固定負債合計	8,593	8,902
負債合計	33,305	31,113
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,395	1,395
資本剰余金	1,576	1,576
利益剰余金	27,226	27,037
自己株式	△951	△951
株主資本合計	29,246	29,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	65
繰延ヘッジ損益	0	△22
為替換算調整勘定	188	△966
その他の包括利益累計額合計	247	△923
非支配株主持分	2,447	2,271
純資産合計	31,941	30,406
負債純資産合計	65,246	61,519

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	19,117	15,884
売上原価	16,084	13,624
売上総利益	3,032	2,260
販売費及び一般管理費	2,549	2,223
営業利益	483	37
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	3	3
雇用調整助成金	—	101
その他	29	26
営業外収益合計	46	146
営業外費用		
支払利息	39	34
持分法による投資損失	2	1
為替差損	56	13
固定資産除却損	5	16
その他	4	3
営業外費用合計	108	70
経常利益	420	113
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	258	—
特別利益合計	258	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	677	113
法人税、住民税及び事業税	203	226
法人税等調整額	1	△156
法人税等合計	205	69
四半期純利益	472	43
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	66
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	397	△23



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	472	43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	6
繰延ヘッジ損益	△3	△24
為替換算調整勘定	233	△1,328
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△8
その他の包括利益合計	223	△1,355
四半期包括利益	695	△1,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	607	△1,193
非支配株主に係る四半期包括利益	88	△117

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	7,917	7,719	1,786	942	750	19,117	—	19,117
セグメント間の 内部売上高又は振替高	130	—	16	17	—	164	△164	—
計	8,047	7,719	1,802	960	750	19,281	△164	19,117
セグメント利益	422	700	8	8	76	1,216	△733	483

(注) 1. セグメント利益の調整額△733百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	6,305	6,357	1,635	988	597	15,884	—	15,884
セグメント間の 内部売上高又は振替高	102	0	1	21	—	126	△126	—
計	6,408	6,357	1,636	1,010	597	16,011	△126	15,884
セグメント利益 又は損失(△)	309	380	△111	27	52	657	△620	37

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△620百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△624百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。